

部 局 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

部局名	総務部	部局長名	永田 一廣
-----	-----	------	-------

部局の 経営資源	当初予算	121.9億円		
	構成人員	職員	嘱託	計
		152人 (防災安全課, 契約検査課, 監査事務局, 選挙管理委員会を含む)	16人	168人

部局の使命 (組織の存在価値)	1 実行力・意欲のある 職員の育成 , 職員の健康管理 への配慮, 健全な職場環境の確保 により, 市民ニーズへの適切な対応, 行政サービスの質を向上させる。 2 コスト意識を重視した 事務事業の峻別 , 限られた財政資源の 効果的・効率的な配分 等の継続的取組みにより, 自立性が高く持続可能な行財政基盤を確立 する。 3 公正・適正な課税 , 厳正な収納対策 , 公有財産の利活用 等により歳入を確保する。	組織目標像	【施策の目標像】 1 中長期財政運営指針に定める各 指標目標値を達成 し, 自立性・弾力性のある 安定した財政構造が確保 できている。 2 納税意識の高揚 , 収納対策の向上 により, 所要の歳入が確保 できている。 3 指定管理者制度の活用 ・未利用市有地の処分等により, 施設の効率的な運用 ・ 公用財産の適正管理 ができている。 【組織の目標像】 1 市民本位のサービス改革 に果敢に挑戦できるような 職員・職場 となっている。 2 旺盛な勤務意欲 , 適確な対応 , 適切な判断 ができる職員による組織となっている。 3 部内・課内の 応援体制 などにより, 行政課題に 迅速・柔軟 に対応できる組織となっている。
--------------------	--	-------	---

平成20年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

重点事項	具体的な成果目標 (めざそう値)	具体的な取組内容	進捗状況(年度中間)	年度末の達成状況
人材育成 【総務課】	職員人材育成基本方針登載事項の計画的な実施 現行水準以上の研修の実施	上司・部下間のコミュニケーション研修 モチベーション向上研修	管理監督者を対象にコミュニケーション能力向上研修を実施した。 若手職員を対象にモチベーション向上研修を実施予定	

部 局 経 営 方 針

平成 2 0 年度

薩摩川内市

<p>職員の健康増進 【総務課】</p>	<p>病気休暇取得者数・休暇日数の減少【前年度比較】</p>	<p>メンタルヘルス相談・研修 職場復帰支援プログラム策定 定期健診等を踏まえた健康指導</p>	<p>衛生管理者によるメンタルヘルス相談を随時実施 医師相談及び全職員を対象としたメンタルヘルス研修を実施予定 円滑な職場復帰のための職場復帰支援プログラムを策定 定期健康診断結果に基づく要指導者以上対象職員の個別フォローを実施予定</p>	
<p>公平・公正な人事評価制度 【総務課】</p>	<p>人事評価（2次試行）の実施</p>	<p>2次試行（グループ長以上を対象）</p>	<p>グループ長以上を対象とした2次試行を実施中</p>	
<p>市制施行5周年記念事業 【総務課】</p>	<p>推進体制の確立 実施予定事業の決定 関係機関への要請</p>	<p>他市の取組状況調査 各課冠事業の調査・集約 候補事業の選定（実施時期等を含む） 事業費の予算化 関係機関への事前要請，事業内容の調整 組織の設定，要員の確保</p>	<p>他市の取組状況について調査を実施 全課への調査を実施し集約 関係課ヒアリングや庁内検討委員会において候補事業を検討中 主管課にて精査中 自衛隊，NHKほか関係機関と協議した。 庁内検討委員会を2回開催 市民懇談会の設置を準備中</p>	
<p>新人事給与システム 【総務課】</p>	<p>新人事給与システム導入（平成22年度導入）</p>	<p>課内における導入体制の確立 スケジュールの策定 業者選定・更新方法の決定</p>	<p>課内の導入体制の整備を図った。 スケジュールを調整し平成20年度導入と定め、導入作業に着手 導入検討委員会において業者選定を行うとともに、更新内容の検討を実施</p>	

部 局 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

持続可能な財政構造の確立 【財政課】	健全で効率的な財政運営の推進 （当面は、指針目標値の達成） 安定した財政基盤の確保	新たな財政計画の策定	新たな財政計画の策定に向けた準備	
新地方公会計制度 【財政課】	財務関係情報の積極的開示 新たな公会計制度に対応した資料を作成・公表（H20年度決算から実施）	連結財務諸表4表の作成・公表に向けた準備	4表作成の前提となる公有財産台帳作成業務（土地1.3万筆、建物2,300件）の委託契約締結（6月）	
新財務会計システム 【財政課】	財務関連事務の効率化・省力化 新財務会計システムの導入 （H22年度当初予算編成作業時（H21年秋以降）から導入）	新システムの導入に向けた準備	新システム開発の委託契約締結（6月）	
指定管理者制度検証 【財産活用推進課】	検証手順の確立 （年度末までに作成）	モニタリングマニュアルの作成	<ul style="list-style-type: none"> ・ モニタリングマニュアル，評価マニュアルを作成 ・ 10月～12月においてモニタリング・評価を試行予定 	
分譲団地の販売促進 【財産活用推進課】	販売目標 = 5区画：2,000万円 （年度末）	市HP・新聞・住宅情報誌等へ掲載し，早期販売を促進 県宅地建物取引業協会との「購入者紹介に関する協定」の締結	田代ニュータウン2区画売買契約締結 契約金額：1,038万円 県宅地建物取引業協会と協定締結について協議中	
未利用土地の転用・処分 【財産活用推進課】	処分目標 = 1億円（年度末）	処分・貸付可能な土地の積極的な処分・貸付	保育園敷地等17件売買契約締結 契約金額：8,232万円 契約面積：26,638㎡	

部 局 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

<p>効率的な車両管理 【財産活用推進課】</p>	<p>稼働率：85%以上 マイクロバス削減台数：1台 (3台 2台に)</p>	<p>公用車集中管理の本格実施 マイクロバスの削減</p>	<p>68台で運用中 稼働率約79.6% 削減車両の調整中</p>	
<p>固定資産現況調査 【税務課】</p>	<p>家屋全棟調査の完了 平成21年度課税への反映</p>	<p>本土地域：2次調査 甌地域：1・2次調査</p>	<p>・1次調査： 進捗率=100% 市内全地域86,023棟調査終了(～8月) ・2次調査： 進捗率=44.14% 甌全地域終了 市内全域7,613棟中、3,361調査済</p>	
<p>使用済核燃料税条例 【税務課】</p>	<p>新規条例可決 総務省の同意</p>	<p>電力事業者との協議・調整 条例(案)の調製 (可決後)総務省への協議</p>	<p>期間延長・税率引上げについて電気事業者から同意〔7/23〕 市議会において条例可決〔9/26〕 総務省へ協議書を提出〔10/8〕</p>	
<p>市税等の収納率向上 と滞納処分の強化 【収納対策課】</p>	<p>前年度収納率実績以上を確保 〔暫定目安〕 市 税 現年度分 = 98% 滞納繰越分 = 10% 国保税 現年度分 = 94% 滞納繰越分 = 10%</p>	<p>電話・臨戸徴収による早期催告 納税相談(個別面接による実情把握,適正・公平な納税指導) 滞納処分</p>	<p>電話・臨戸徴収による早期催告の実施 納税相談(個別面接)の実施 滞納処分(差押)・換価処分(公売)の実施 差押：39件 交付要求：56件 公売の実施 2件：7,392千円</p>	
<p>年度中間総括</p>	<p>メンタル面を含め病気休暇等職員が依然として増加傾向にあることから、職員の健康増進については今後とも継続して取り組みたい。内部検討が進められている市制施行5周年記念事業については、今後、懇談会の意見等を踏まえ、予算化に向けた取り組みを行う。新人事給与及び新財務会計の各システム導入に関しては、導入次期を見据え、今後とも計画的な事業推進に努めたい。指定管理者制度の検証作業については、今般策定したマニュアルをもとに試行を行い、簡素で実効性のあるシステム構築に繋げることをしたい。</p>			

部 局 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

	<p>使用済核燃料税条例更新については、計画どおり条例可決・総務省への事前協議を終えた。総務省の同意を受けた後、所要の規則改正を行うこととしたい。</p> <p>市税等の収納については、監査及び議会からもなお一層の努力を求められていることから、引き続き、早期催告・納税相談の実施や滞納処分の強化に努めたい。</p>
年度末総括	